

# 延岡市の最近の動き



延岡城・内藤記念博物館



野口遵記念館

令和5年5月 宮崎県延岡市

# 株式会社テムザックと連携

## 「耕作放棄地」増加を食い止める！スマート稲作改革

(ワークロイドを活用した米作り、及び米粉生産に関する研究開発)

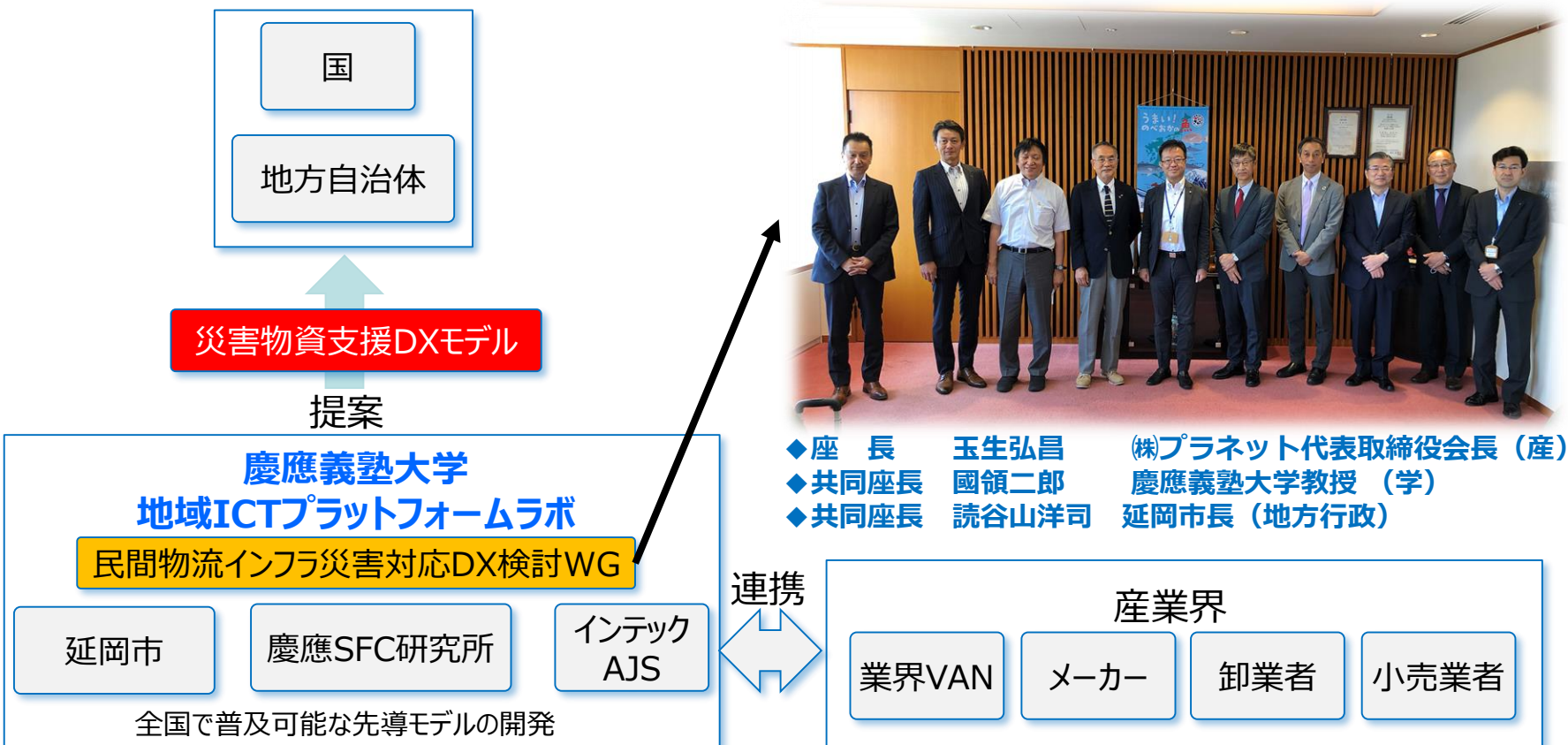


# 災害物資支援DXモデルの研究開発について

現在、延岡市において、全国の市町村で普及可能な「豊かな災害生活を実現」する災害物資支援DXモデルの研究開発が行われています。

- ◇延岡市と慶應義塾大学SFC研究所、AJS株式会社が連携協定を締結（令和3年12月）
- ◇今回設立した「民間物流インフラ災害対応DX検討WG」では、災害が高頻度かつ常体化する中、**平時に民業の商品発注で使っている物流インフラを、緊急時に公の災害物資提供インフラへ変換**することを可能にするDXを、まずは日用品関連において研究開発します。

令和4年8月 研究開発を始動



# 延岡市スマートシティ政策で意見交換

## スマートシティ・シンポジウムin延岡

- ・日時 : 令和5年2月27日(月) 13:00~15:30
- ・場所 : リアル会場 : waiwai PLAY LAB  
※Zoomウェビナーでの同時配信
- ・対象 : 市内外の企業や大学等
- ・参加者 : 約150名 ※リアル会場 : 約50名参加  
※Zoomウェビナー : 約100名参加

## 市民と共に進める市民のための スマートシティ講演会

- ・日時 : 令和5年3月11日(土) 13:00~15:00
- ・場所 : 市役所2階 講堂
- ・対象 : 市民や市内企業
- ・参加者 : 約90名

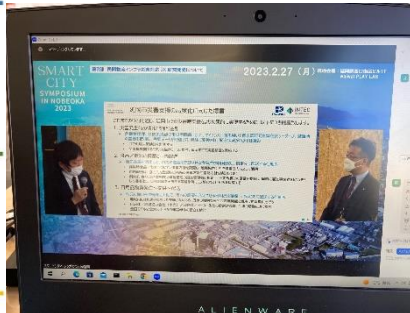


### 第1部 13:10~14:10

カーボンニュートラルでウェルビーイングな  
延岡市の実現に向けて~脱炭素政策と救済MaaS事業~  
山形と志樹氏 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授/博士)  
読谷山 洋司 (延岡市長)

### 第2部 14:30~15:30

民間物流インフラ災害対応DX研究開発について  
玉生 弘昌氏 (株式会社プラネット 代表取締役会長)  
飯沼 正満氏 (株式会社インテック 常務執行役員 情報流通基盤サービス事業本部)  
梅嶋 真樹氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授 博士)  
読谷山 洋司 (延岡市長)



主催: 宮崎県延岡市 (参加無料) お申込みはこちらから →  
TEL: 0982-22-7074 (スマートシティ推進室) 定員: 現地会場 50人  
MAIL: smart@city.nobeoka.miyazaki.jp オンライン参加は定員なし

## 市民と共に進める市民のためのスマートシティ講演会

令和5年3月11日(土) 13:00~15:00 会場: 延岡市役所 2階 講堂

【参加無料】



### スケジュール

- 13:00 開会  
~ご来場者特典~  
受付で「のべおかCOINポイント」200ポイントをプレゼント
- 13:10 行動分析による交通最適化の研究  
東京大学大学院情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター  
特任准教授 博士 山口 利恵氏
- 14:00 同時双方向遠隔授業による論理コミュニケーション  
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科  
特任准教授 博士 梅嶋 真樹氏
- 15:00 閉会



主催: 宮崎県延岡市 (参加無料) お申込みはこちらから →  
TEL: 0982-22-7074 (スマートシティ推進室) 定員: 100人  
MAIL: smart@city.nobeoka.miyazaki.jp

# 九州経済産業局「宮崎サテライトオフィス」を期間限定で開設

九州経済産業局が、3/15（水）～16（木）に、延岡駅西口街区ビルコワーキングスペースにて、「宮崎サテライトオフィス」を初めて開設。市内事業者を対象に、国や市のR5年度補助事業の説明会や補助金の活用・電子申請に関する個別相談会を実施した。

## ◆◆中小企業施策説明会◆◆

### 【会場】

- ・延岡市コワーキングスペース

### 【内容】

- ・九州経済産業局
- ・事業再構築補助金
- ・小規模事業者持続化補助金
- ・IT導入補助金

### ＜宮崎県よろず支援拠点＞

- ・宮崎県よろず支援拠点の取組について

### ＜延岡市＞

- ・延岡の元気な中小企業応援事業
- ・事業拡大、新分野進出、第二創業等支援補助金

### ＜合同会社ミスマス（延岡市地元事業者リモート時代対応支援事業登録講師）＞

- ・補助金応募時の電子申請システムについて

スタートアップ、アトツギ、フリーランス、若手経営者等の皆様

九州経済産業局 若手職員が九州各地の創業支援施設にお邪魔します!! 各種補助制度等のご案内も可能です  
あなたのお悩み・夢 私たちにお聞かせ下さい!!

# 宮崎 サテライト 期間限定OPEN

お気軽にお越し下さい

DATE 2023.3.13（月） - 17（金）  
PLACE ATOMica宮崎 **ATOMica**  
(宮崎市橘通西3-10-32 宮崎ナナイロ東館8F)

DATE 2023.3.15（水） - 16（木）  
PLACE 延岡市コワーキングスペース  
(延岡市幸町3丁目101番地 延岡駅西口街区ビル2階)

【問合せ先】九州経済産業局 地域経済課  
✉ bzl-jisedaix@meti.go.jp

▼イベントは要予約(無料)

ご質問いただいた個人情報は、事務局（九州経済産業局）及び講師、顧問等がご本人の同意に基づき、本事業（宮崎サテライトオフィスにおけるイベント及び個別相談会）の運営にのみ使用し、事務局においての保護し、第三者に開示することなく、ご本人の同意なくして事務局及び講師、顧問等に提供することはありません。お問い合わせは必ずご本人の同意を仰ぎます。

# 延岡市企業立地促進条例に基づく指定

## 延岡市企業立地促進条例に基づき指定を受けた工場等

1. 株式会社 オレンジゲート 延岡office
2. 株式会社 山内システム 北方事業所 第二期増設
3. 若宮水産 株式会社 第二冷凍冷蔵庫
4. 宮崎ひでじビール 株式会社 醸造所及び見学施設
5. 株式会社 オムニバス 延岡トレーディングセンター第二期増設
6. 株式会社 クラウドイオサステナビリティ 延岡事業所
7. 株式会社 キサヌキ 第3工場
8. 有限会社 結城水産 間の後ろ加工場
9. 旭化成 株式会社 ラムース第4系列増設



延岡市企業立地促進条例に基づく指定を受けた各事業所の代表と読谷山市長(市中小企業振興センター)

令和5年3月10日(金) 夕刊デイリー記事

### 新たに9事業所 指定書を交付

## 延岡市の立地企業延べ208件に

延岡市企業立地促進条例に基づき、指定事業所に指定書が6日、市中小企業振興センターであり、新たに9事業所を指定した。市指定工場等は延べ208件となった。

9事業所は今年1月までに、市内で工場や設備の新設・増設、事業拡大に伴う新規採用などに取り組んでおり、市長から諮問を受けた市企業立地審議会が2月20日に全会一致で「指定すること」が

「適当」と答申。指定事業所の発達と経済の再生を達成できるよう尽力した。指定事業所を代表し、キサヌキの木佐富浩司社長が「これまでに経験のない厳しい経済状況の中で、きょう集まられたのは一歩前進することを選ばれた企業だと思う。今回の指定を機にさらなる経営革新と生産性向上を図りつつ、この延岡にしっかりと根を下ろし、皆さまの期待に沿うよう

の発展と経済の再生を達成できるよう尽力した。指定事業所を代表し、キサヌキの木佐富浩司社長が「これまでに経験のない厳しい経済状況の中で、きょう集まられたのは一歩前進することを選ばれた企業だと思う。今回の指定を機にさらなる経営革新と生産性向上を図りつつ、この延岡にしっかりと根を下ろし、皆さまの期待に沿うよう

な企業を目指していきたい」と力を込めた。今回の指定工場等は次の通り。

【指定工場等】  
 ▼オレンジゲート延岡オフィス(愛宕町) IIインターネットを活用した各種情報提供サービス(新規雇用者2人)  
 ▼山内システム北方事業所第2期増設(北方町川水流) II制御ソフトウェア・プラント制御・スマート農業システム開発・

銀イオン水製造など(同4人)  
 ▼若宮水産第2冷凍冷蔵庫(北浦町市振) II販売用水産物の凍結・保管・出荷業務(同1人)  
 ▼宮崎ひでじビール醸造所・見学施設(行橋町) IIビール・発泡酒の製造販売と醸造所見学およびビール試飲提供・観光物産品販売(同5人)  
 ▼オムニバス延岡トレーディングセンター第2期増設(幸町) IIインターネット広告の運用業務(同1人)  
 ▼配信設定・成果レポート作成・考察(同6人)  
 ▼クラウドイオサステナビリティ延岡事業所(延岡市幸町) II地域企業グループウェア・パッケージソフト導入・システム開発と地域DXの企画・推進およびDX人材コミニティの提供・教育支援・企画・運営(同2人)  
 ▼キサヌキ第3工場(粟野名町) II高級木工技術と自作生産ラインによる個人向け家具製造所の増設(同9人)  
 ▼結城水産間の後ろ加工場(島浦町) II自社生産の養殖魚加工・販売(同1人)  
 ▼旭化成ラムース第4系列増設(中川原町) II自動車内装・トランクセサリー向け高級人工皮革の生産(同1人)

# 令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 採択状況

## デジタル実装タイプ

国：令和4年度補正

3月10日 採択決定

タイプ (補助率)	事業名称	事業総額 (申請額)	採択結果	区分
マイナンバー カード利用横展 開事例創出型 (10/10補助)	のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した 「行かない市役所」構築事業	298,000千円 (287,520千円)	採択	新規
TYPE1 (1/2補助)	平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるWell-beingの実現	199,150千円 (99,575千円)	採択	新規
	新時代ヘルスケア推進事業	148,170千円	不採択	—

## 地方創生推進タイプ

国：令和5年度当初

3月29日 採択決定

タイプ (補助率)	事業名称	事業総額 (申請額)	採択結果	区分
Society5.0型 (1/2補助)	「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業	113,492千円 (56,746千円)	採択	新規
横展開型 (1/2補助)	「自然といのちを大切に作る地域づくり」による移住・交流人口増促進事業	80,738千円 (40,369千円)	採択	新規
	地域経済の「成長」「分配」・及び地域通貨を活用した「域内消費」の好循環等実現プロジェクト	71,663千円 (35,831千円)	採択	継続
	東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連機器産業成長戦略事業	6,000千円 (3,000千円)	採択	継続

# デジタル田園都市国家構想交付金 (令和4年度補正予算分)

## デジタル実装タイプ採択 2 事業



## <令和4年度から令和5年度の変更点>

国では「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を進化・加速化する観点から、令和5年度から従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向け分野横断的に支援することとしている。

### 【令和4年度】

(3つの交付金)

地方創生推進交付金

地方創生拠点整備交付金

デジタル田園都市国家構想  
推進交付金

### 【令和5年度】

デジタル田園都市国家構想交付金

地方創生推進タイプ

地方創生拠点整備タイプ

デジタル実装タイプ

# ①のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

## 【事業名】

のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

・採択額 287,520千円

(交付対象事業費 287,520千円／国費100%)

マイナンバーカード利用  
横展開事例創出型  
【TYPE X】

## 【事業概要】

地域課題の解決や魅力向上等の地方創生につながる本市独自の各種施策の推進に合わせ、市民カード化構想における新マイキープラットフォームを活用し、本市が令和4年度にデジタル田園都市国家構想TYPE1及びTYPE2で実装した、住民向けフロントサービスである「のべおかポータル」とデータ連携の要となる「データ連携基盤」を連携し、行政手続の一气通貫したデジタル対応による「行かない市役所」（①オンライン申請とデジタルチケット（子ども医療費受給資格証）の発行、②オンライン面談・相談、③図書館システムの構築）を実現させ、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を図る。



## ②平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるWell-beingの実現

優良モデル導入支援型  
【TYPE 1】

### 【事業名】

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

・採択額 99,575千円

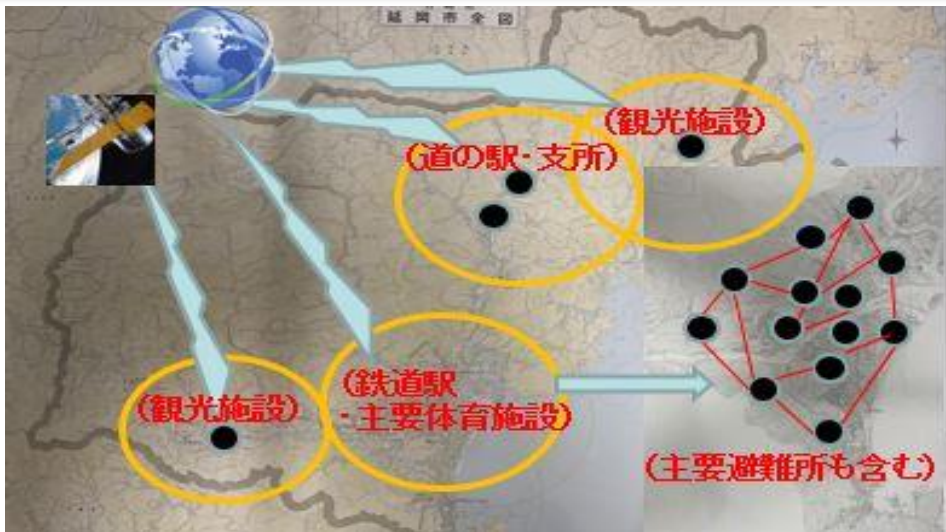
(交付対象事業費 199,150千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

### 【事業概要】

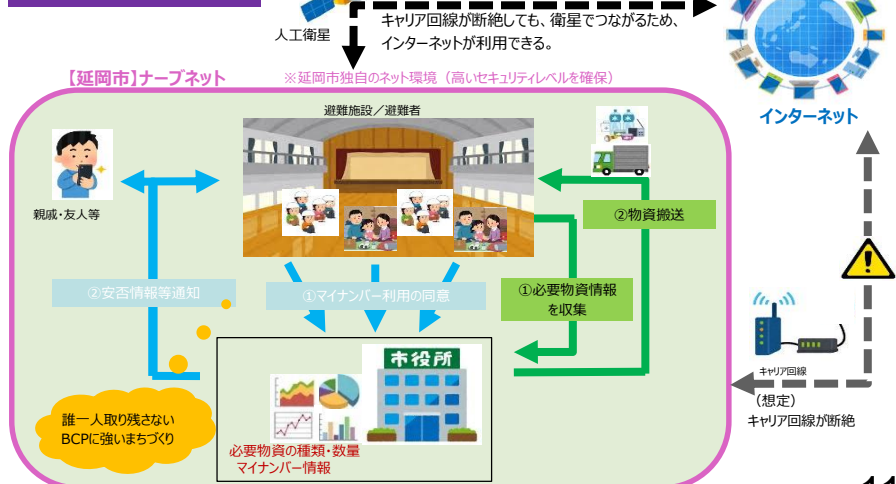
自治体情報掲示板利用者、システム内のWi-Fi環境利用者、市公式サイト利用者の個人情報保護に関する同意管理を実施し、通常の方法では、行政が知り得ない個人の情報をシステム内で入手し、平時の関係人口の情報把握や観光客や市民のニーズ把握、市公式サイトへのアクセス状況分析などにより、個別最適化された情報提供を可能とするとともに、地域通貨と組み合わせて市内消費の拡大を図る。

また災害時においても、自前のネットワークを構築することで、ネットワーク内でのインターネットを含む通信が可能とすることにより、外部サーバー故障によるネットワークダウンや携帯電話回線の規制時においても、必要な情報を伝達することが可能とするとともに、さらにセキュアな通信環境で情報を伝達できるので個々人の支援や生活必需品の確保も可能とする。

こうした平時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開することにより、人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。



### 災害時の運用イメージ



# デジタル田園都市国家構想交付金 (令和5年度当初予算分)

地方創生推進タイプ 採択2事業

## <令和4年度から令和5年度の変更点>

国では「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を進化・加速化する観点から、令和5年度から従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向け分野横断的に支援することとしている。

### 【令和4年度】

(3つの交付金)

地方創生推進交付金

地方創生拠点整備交付金

デジタル田園都市国家構想  
推進交付金

### 【令和5年度】

デジタル田園都市国家構想交付金

地方創生推進タイプ

地方創生拠点整備タイプ

デジタル実装タイプ

# ①「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

## 【事業名】

「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

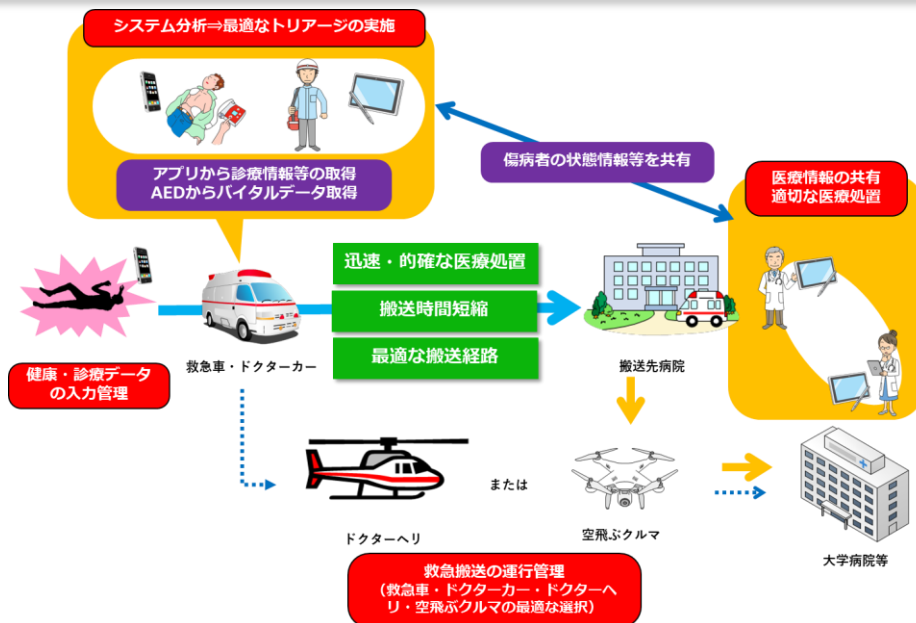
・採択額 56,746千円

(交付対象事業費 113,492千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

Society5.0型

## 【事業概要】

専門家や医療・防災関係者と連携し、実際に「空飛ぶクルマ」の試験飛行を行うとともに、各種シミュレーション等の実施などにより「空飛ぶクルマ」の実装を実現する。それと並行して、「一人でも多くの命を救う」ために、新たな救急搬送システムの高度化を進める。



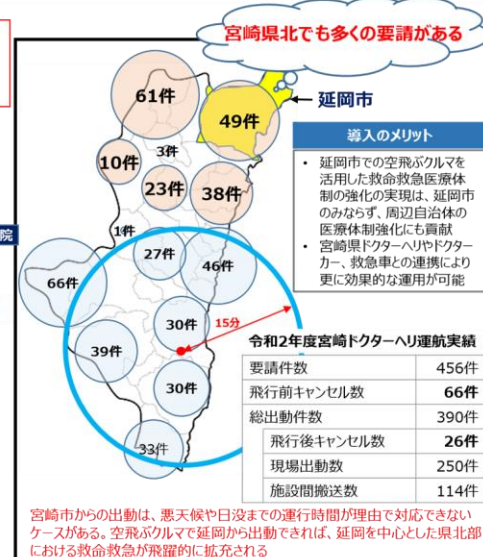
参考

## 延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

出動要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



●各県のドクターヘリが約15分で到着可能な範囲 (基地病院から55km圏のイメージ図)



## ②「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

### 【事業名】

「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

・採択額 40,369千円

(交付対象事業費 80,738千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

横展開型

### 【事業概要】

人口減少の顕著な中山間地域等において、農林業の振興を図るため、狩猟免許取得者を増やすのみならず、デジタル技術を活用して、有害鳥獣が人里に近づかないような仕組みを整備し、地域産業の好循環を生み出すとともに、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」による人材育成にも取り組み、このような自然といのちを大切にできる地域づくりに共感するペット愛好家等の移住や交流人口の増加を図っていく。

また、農業経験のない人でも農業に取り組めるよう、最新の技術を活用したロボットによる稲作支援等に取り組み、新規就農者の確保や移住促進を図り、総合的に地方創生を進める。



# 【宮崎県延岡市】 デジタル田園都市国家構想交付金 交付額

令和4 + 5年度(新規) デジタル田園都市国家構想交付金  
(広域連携事業を除く)

**交付金交付額 全国 第3位 (九州 第1位)**

※事業費ベース 1,220,000千円 (交付金ベース 748,012千円)

単位:千円

順位	自治体名	デジタル実装タイプ	地方創生推進タイプ (新規)	合計
1	群馬県前橋市	1,008,169	18,000	1,026,169
2	北海道河西郡更別村	825,137	118,865	944,002
3	宮崎県延岡市	650,897	97,115	748,012
4	茨城県猿島郡境町	695,144	0	695,144
5	神奈川県小田原市	655,152	0	655,152
6	福島県会津若松市	641,832	0	641,832
7	奈良県	604,228	12,868	617,096
8	岡山県加賀郡吉備中央町	567,792	0	567,792
9	福岡県	300,598	208,347	508,945
10	大阪府豊能郡豊能町	497,688	0	497,688

<国の交付金ベース/内閣官房・内閣府総合サイト公表資料より算出>